

テーマ

# 『脳卒中とは』

10月8日（土）

日時

令和4年

14時00分～15時45分（開場13時30分）

会場

鳥取県立中央病院 1F 多目的ホール

鳥取市江津730 Tel0857-26-2271

対象

どなたでもご参加いただけます。

講演

## 講演1【脳卒中とは～病態と診断～】

鳥取県立中央病院 脳神経内科 部長 下田 学

脳卒中は、よく知られた病気の一つで、身近に遭遇することも多いものです。どういう症状が出たら脳卒中なのか、どう対処したらよいのか、原因や病気の実態もあわせて詳しく解説します。

## 講演2【脳梗塞の治療】

鳥取県立中央病院 脳神経外科 部長 吉岡 裕樹

超急性期脳梗塞に対する根本的治療（歩いて退院できるように）から、再発予防の治療（再発予防や今以上に悪くならないように）まで、飲み薬、点滴の薬、各種手術について説明します。

## 講演3【リハビリ治療】

鳥取県立中央病院 リハビリテーション室 理学療法士主任 山崎 晃生

脳卒中を発症すると様々な後遺症が出現します。リハビリテーションでは、後遺症を抱えた方がその人らしい生活を再獲得できるよう支援していきます。脳卒中後の後遺症やリハビリテーションの概要について説明します。

## 講演4【脳卒中の看護と再発予防】

鳥取県立中央病院 6南病棟 看護師長 岩城 妃代子

脳卒中で起こった身体症状に対して、どのように関わっていけばよいのか、具体的に説明します。また、再発予防についてもお話しします。

**入場の際のご注意** ご来場の際は必ずマスクをご着用ください。

体温が37.5℃以上、または体調がすぐれないなどの場合は入場をお控えください。入場時に必要事項（ご氏名、ご住所、お電話番号）をご記入いただきます。

鳥取県版新型コロナ警報の指標に基づき、鳥取県東部に「特別警報」が発令された場合は中止といたします。開催の可否状況は当院ホームページでご確認ください。

